

日本を元気に! チャリティーコンサート

# 日本センチュリー交響楽団 & 田部京子のベートーヴェン

指揮: 現田茂夫

## Program

ベートーヴェン  
L. v. Beethoven

ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 作品58  
Piano Concerto No.4 in G major, Op.58

交響曲第7番 イ長調 作品92  
Symphony No. 7 in A major, Op.92

※出演者、曲目等が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
※未就学児差のご入場はご遠慮ください。

指揮/現田茂夫  
Conductor/Shigeo Genda

ピアノ/田部京子  
Piano/Kyoko Tabe

# 2011.7.16(土)

開場15:30 開演16:00

入場料 (全席指定・税込)

一般 5,000円  
友の会会員 4,500円

(センチュリー各種会員も同額の割引をいたします。センチュリー各種会員は以下センチュリーチケットサービスへお申し込み下さい。)

チケット発売所

松方ホールチケットオフィス/078-362-7191  
センチュリーチケットサービス/06-6868-0591  
ローソンチケット/0570-084-005 (Lコード55068)  
神戸国際会館/078-230-3300

管弦楽/日本センチュリー交響楽団  
Orchestra/Japan Century Symphony Orchestra  
(旧 大阪センチュリー交響楽団)



## 神戸新聞 松方ホール

<http://www.kobe-np.co.jp/matsukata>  
JR神戸駅下車、ハーバーランド内、阪急百貨店西隣、神戸情報文化ビル4F  
ご予約・お問い合わせ/神戸新聞松方ホール TEL078-362-7191  
主催/神戸を元気に! チャリティーコンサート実行委員会  
(神戸新聞社、神戸新聞文化財団、  
公益財団法人 日本センチュリー交響楽団、  
NPO法人しみん基金・KOBE)

# 本公演の収益金は、NPO法人しみん基金・KOBЕに寄付され、「<絆>を創る・つなぐ」をテーマとする市民による公益的な活動に活かされます。

16年前の阪神・淡路大震災でわれわれが学んだことは、社会的弱者を地域で支えていくコミュニティーの重要性でした。近年蔓延している「無縁社会」と呼ばれる状況をなくし、より一層の「絆」の再生と創造が求められています。いま、東日本を襲った未曾有の震災と津波、そしてそれに伴って起こった原発事故でたくさんの方が苦境に立たされています。

「しみん基金・KOBЕ」は1999年、阪神・淡路大震災後に設立されたコミュニティー・ファンドです。設立以来、市民や企業、団体からの寄付で基金を形成し、2010年11月現在で延べ124のNPOやNGO、ボランティア団体の活動を支えてきました。これらの支援が地域における身近な支え合い、助け合いの連鎖を生みだしています。

本公演の収益は、東日本大震災で被災した方々への支援を含め、コミュニティーづくりや若い担い手を育成するNPOやNGO、ボランティア団体の活動に活かされます。

## 現田茂夫 [指揮]

Shigeo Genda [Conductor]



東京音楽大学指揮科で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京芸術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年安宅賞受賞。

86年オペラ・デビュー後、二期会オペラで活躍する一方、オーケストラコンサートでも実績を積み、87年新星日響指揮者に就任。90年ウィーン国立歌劇場に国費留学。91年スロヴァキア・フィルに客演。92年プラハ国立歌劇場日本公演を指揮。同年プラハ響定期公演に初登場し、翌年「プラハの春」での「佐藤しのぶリサイタル」はヨーロッパで放送された。

96年より13年間神奈川フィルハーモニー管弦楽団を指導し飛躍的に躍進させ、その功績も称えられ2009年4月より名誉指揮者の称号を得る。国内外の主要オーケストラも指揮し好評を得ている。また、世界的チェリスト、故ロストロポーヴィチ氏と皇后陛下の古希祝賀コンサート等で共演し高い評価を得た。

オペラ指揮者としても経験豊かで、東京二期会、関西二期会、錦織健プロデュースオペラのほか、海外の劇場での指揮も行っている。また、アントニオ・ベドロッティ国際指揮者コンクール(イタリア/トレント)の審査員、NHKの「FMシンフォニー・コンサート」のパーソナリティを3年間務めるなど、バラエティに富んだ活動を行っている。

## 田部京子 [ピアノ]

Kyoko Tabe [Piano]



日本音楽コンクール第1位、シュナーベルコンクール第1位、ミュンヘン国際音楽コンクール(ARD)第3位他多数の受賞歴を誇る。

バイエルン放送響、モスクワ・フィル、バンベルク響、フランチリスト室内管、アルバン・ベルク四重奏団など世界の一流のオーケストラ、アンサンブルとの共演は数多い。カーネギーホール主催によりワイル・リサイタルホールでニューヨークデビュー。

レコーディング活動も活発で、カルミナ四重奏団との「シューベルト：ピアノ五重奏曲「ます」/シューマン：ピアノ五重奏曲」(2008年度レコードアカデミー賞室内楽部門賞)、「田部京子 プレイズ・メンデルスゾーン」(レコード芸術誌特選)など高い評価を得ている。

2007年から2010年シューマンを中心としたロマン派作品によるリサイタル・シリーズ「シューマン・プラス」は好評のうちに終了、高い評価を得た。

これまでに、村松賞(音楽部門大賞)、新日録音楽賞などを受賞。2006年より上野学園大学教授(演奏家コース)。

オフィシャルHP: <http://www.kyoko-tabe.com>

## 日本センチュリー交響楽団 [管弦楽]

(旧 大阪センチュリー交響楽団)

Japan Century Symphony Orchestra [Orchestra]

日本センチュリー交響楽団 は、1989年(平成元年)12月に大阪府により「大阪センチュリー交響楽団」として設立された。

初代常任指揮者はウリエル・セガル(現名誉指揮者)が務め、楽団の基礎を築いた。1997年4月からは高関健が常任指揮者を歴任、斬新なプログラミングにより、楽団のアンサンブルに一層の磨きをかけた。2003年4月から首席指揮者に小泉和裕を迎えるとともに2005年に定期演奏会は100回を数え、演奏の緻密さに加えダイナミックな表現を獲得した。2008年4月からは小泉和裕が初代音楽監督に就任、加えて首席客演指揮者に沼尻竜典が就任し、2009年楽団は同体制のもと創立20周年を迎え、両指揮者による記念公演を行った。

レパートリーは古典派から現代音楽まで多様を極め、近年では小泉和裕とのブルックナー交響曲シリーズ(4,5,6番)や、沼尻竜典との、西村朗：オーケストラのための「蘇莫者」(楽団委嘱作品)やメンデルスゾーン：交響曲第2番「神をたたえる歌」といったCD録音においても高い水準を示し、評価を得ている。

2011年4月、広域的なオーケストラ活動を目的とした「公益財団法人日本センチュリー交響楽団」を設立、同時に名称もこれまでの「大阪センチュリー交響楽団」から「日本センチュリー交響楽団」へと改め、新たなスタートを切った。

日本センチュリー交響楽団は、優れた演奏力を基盤とした新たな時代のオーケストラとして、その活動と発展に大きな期待が寄せられている。

